

武相エコノミスト

第9号

2018.1.1

BUSO ECONOMIST

ninth issue

2018年 新春スペシャル鼎談

町田市長

石坂 丈一

町田・相模原経済同友会 幹事

澤井 宏行

町田・相模原経済同友会 副代表幹事

柴田 正隆

企業と人

東京ガスライフバル澤井株式会社

澤井茂男氏

武相エコノミスト

題字 小山克己 株式会社 三和 代表取締役社長

表紙の人

左から
澤井宏行幹事
石阪丈一町田市長
柴田正隆副代表幹事
町田市役所にて

撮影 タカオカ邦彦



contents

11	10	8-9	7	4-6
例会報告 20177-12	Area Topics 桜美林大学 陸上部 大学初の箱根ラン 創部5年目で掴んだ大きな一歩	企業と人 東京ガスライフバル澤井株式会社 代表取締役 澤井茂男氏 親子で切り拓く、次なる挑戦	私の行きつけの店 俊宣茶房 × 朝日リビング株式会社 田代雅司氏	2018 新春スペシャル鼎談 町田市が描く、『未来への投資』 子育て、教育、そして――。 町田市長 町田・相模原経済同友会副代表幹事 柴田正隆 × 町田・相模原経済同友会幹事 澤井宏行

THINK GLOBALLY, ACT LOCALLY

町田・相模原経済同友会は2006年7月、「誰もが住みよい町田市」を目指し東京町田経済同友会として設立されました。その後、2008年4月に町田・相模原経済同友会となり、町田市と相模原市、すなわち武相の発展を目指す団体へと進化を遂げ、その実現に向け歩み続けております。町田・相模原経済同友会の会員は、この地域において跳動している企業70社の経営者です。個々の企業経営者の「貢献する心」をベースに、業界や団体の枠を超えたネットワーク、時代の遷り変りを見る確かな目、そして問題を直視するリアリズムなど、そのリソースが最大の特色です。グローバルな視野で地域経済を捉える。つまり“think globally, act locally”な視点で調査・研究し、議論し、広く社会に影響を与えるべく行政への提言や講演会などの諸活動を行っております。また調査・研究や講演会など通じ、会員相互の交流は勿論の事、経営力の向上にも寄与しております。

会員の確固たる意志を礎に、確かな新しい時代を築くため、これまでも、そしてこれからも町田・相模原経済同友会は歩み続けます。

朝日リビング(株) アポロオフィスシステム(株) (株)ありあけ (株)イーグル建創 いすゞ自動車首都圏(株) 相模原支店 (株)井上積建築デザイン研究所 (株)ウイッツコミュニティ (株)ヴィレッジ (株)エコグリーンホールディングス SMBC日興証券(株) 町田支店 (株)エフ・エス・エル (学)桜美林学園 大野重電土木(株) (株)オーディオテクニカ (株)折本設備 (株)カイセ工業 (株)家具の大正堂 (有)角松屋 関東学院大学 (株)ギオン (株)ギオンリサイクル (株)キャロットシステムズ (株)協栄スイミングクラブ町田 草薙一郎法律事務所	(株)ケーユーホールディングス 合同電気工事(株) (株)寿食品 相模原土地開発(株) (株)三和 シー・エイチ・シー・システム(株) (株)JTBコーポレートセールス法人営業 相模原支店 事業協同組合相模原トラックセンター 昭和リース(株) 八王子支店 (株)新建 新日本流通サービス(株) 西武信用金庫 町田支店 (株)セレモア 相模原本社 千寿産業(株) (株)創建 損害保険ジャパン日本興亜(株) 町田支社 (株)ダイイチ 第一生命保険(株) 町田支社 (学)玉川学園 (医)直源会 相模原南病院 東京ガスライフバル澤井(株) (株)東京綜合造園 (学)東京町田学園 町田・デザイン専門学校 (株)トーエル	トブレック(株) (株)日本アクセス 神奈川支店 野村證券(株) 町田支店 萩生田税務会計事務所 (株)ハギワラ (株)八郎平 ファンリティパートナーズ(株) (株)フィルツ都市建築設計 富士エクスプレス(株) ブリヂストン・タイヤ・ジャパン(株) 生産財カンパニー 北辰企業(株) 細野コンクリート(株) (株)ホンマ電機 (有)マサハ・神奈川県議会議員 (株)松田設備 マルマテクニカ(株) (株)三ノ輪建設 睦特殊金属工業(株) 山口自動車(株) (株)横浜銀行 相模原駅前支店 横浜日野自動車(株) 相模原支店 (株)リブラボ
--	--	---

2018年 新春スペシャル鼎談

町田市が描く、『未来への投資』 子育て、教育、そして—。

町田市長

町田・相模原経済同友会 副代表幹事

町田・相模原経済同友会 幹事

石阪 丈一 × 柴田 正隆 × 澤井 宏行

15歳未満の転入超過数全国1位、3～5歳の待機児童数もほぼゼロの町田市。

子育て支援プロジェクトの成果だけでなく、自治体初の画期的な改革を市民目線で進めてきたのが石阪市長だ。

民間経営者感覚の改革派市長に、町田、相模原を担う若き企業人が切り込んだ。

石阪 丈一

町田市長

東京都町田市野津田町出身
横浜国立大学経済学部卒業
1971年横浜市総務局に入局、(公財)NIRA総合研
究開発機構やパシフィコ横浜等への出向を経て
2004年横浜市港北区長に就任
2006年より町田市長
バードウォッチングと版画が趣味



「まず、行動させる。意識は後から付いてくる」

に、石阪市長はこんなに凄い改革派だといふこと、全然知りませんでした。他にも、15ヶ所に分散していた市庁舎を1ヶ所に統合し、年間4億5000万円払っていた家賃を、80億借りることで1年当たり1億5000万円もの経費削減を実現されたり(返済期間を30年で換算)。複式簿記の採用もそうですよね。

石阪 全国の市町村で初めてでした。

柴田 複式簿記なら資産がどれぐらいあるか分かりやすいし、それを有効資産として貸し出すということも見えてきますよね。あと、ゴミ収集業務の7割を民間委託して人件費を圧縮したり、職員を5年で100人以上削減されたり。そういう業務改善とか財務内容を強化していく取り組みを行政でやるのは、並大抵の努力じゃなかったと思うんです。

石阪 一番大事なのは、何故それをやるかということを分かりやすく伝えること。財

政状況を市民にお知らせするのは、税金を頂いているから説明する義務がある。でも、よく分からない官庁会計でお知らせしたら、知らせたことにならないでしょう？職員は税金で食べている訳だから、税金を払って下さっている市民の皆さんが分かりやすい企業会計でお知らせするのは当たり前。官庁会計が分かる人もいるかもしれないけれど、それは少数派。

柴田 横並びの行政で町田市がやっているのに他の自治体がやらないのは、見られちゃ困るんじゃないのかと勘ぐっちゃいますよね。

澤井 内部を改革するときには強い意志を持ったリーダーがいないとなかなか進まないですよ。小さなことでさえ、随分抵抗がありますもんね。

石阪 結局、複式簿記の理論を勉強しても駄目で、実際にそういう作業をやらせて、こうだと説明させれば、そのうち企業会計の考え方になる訳です。覚えてからやるん

澤井 市長の改革の中で印象的なのは、サービス改革を市民目線で実行されたことです。8時半の出勤時刻を10分前倒しする改革を実行されましたよね。大変な抵抗があつたでしょうが、凄いいました。

石阪 市役所の場合、お客さん第一という視点がないんですよ。今は、だいたい改善されましたが。結局、サプライサイドというか、サービスを提供している側が供給側の論理で供給する。税金を頂いて、市民のために働いていることをすっかり忘れてるんです。

実は、それを凄く感じたのは、横浜市の出向でパシフィコ横浜に勤めていたときでした。インターコンチネンタルの営業担当部長やGMに4年間みっちり叩き込まれたので。当時は横浜市役所を何とかしたいと思っただけです。あそこも供給側の論理で動いていたから。その後、町田に来たので、じゃあここを動かすぞ、と思った訳です。

じゃなくて、やって覚えてもらう。全部、実行が先というように。

澤井 先ほどの改革も一緒ですね。事実を積み上げていく、という。

石阪 そう。自分がそれに従って行動していくと意識は変わっていくんです。

柴田 市長の感覚として、民活すると効率化するという実感があるんですか。

石阪 あります。分かりやすく言うと、直営の場合は端から端まで細かく、法律上の要請に従ってやる訳です。でも、そうすると効率性は下がるし本体のサービスがなかなか進まなくなってしまう。サービスをメインに、法律の要請は境界線でどっか分からない場合は切る。それができるのは、民間。それは、やっていくと分かりやすい。

澤井 様々な改革をされ、入りを増やしつつ、生産性を高め、身の丈に合ったオペレーションで出も抑制する。徐々に借金も返し

「相模原と町田。もつとクロスできたら」



柴田 正隆

町田・相模原経済同友会 副代表幹事

株式会社ウィットコミュニティ代表取締役
リオパラリンピックのメダリスト鹿沼由理恵選手をサポートする一方で、神奈川県PTA協議会会長・日本PTA全国協議会理事も務めている

我々は産業大分類でいえばサービス業。中分類でいえば行政サービス。サービス業なのにお客さんと社員が出勤途中で一緒に階段を上っていく会社はどこにあるのか、そんなのないだろう。何でそれを当然のごとくやっているの？おかしいと思わないのか。ずっとそう言い続けてきました。

澤井 どれくらいあったんですか？

石阪 5年です。僕の考え方は、理論とか理念じゃない。考えが変わったら実行する、じゃないんです。頭の中であだこうだと言わず、原則に合わせてまず身体を動かせと。それから、毎朝、とにかく全職場で一斉に朝礼をやる。これもサービス業では当たり前です。昨日起こったことが全社員に通じないと、そんなことも知らないのか」となりますよね。

柴田 何故、民間経営者のような感覚をお持ちなのか不思議でしたが、パシフィコにいらしたんですね。川を挟んだだけなの

ながら、生み出されたお金をどこに向けるかというイメージはありますか？

石阪 モノレール、それから中心市街地の開発、この2つが大きなハードです。ソフトは、今までの路線の継続ですが、子育てと教育。教育投資が一番重要な。

澤井 それは嬉しいですね。教育って画一的になりがちですが、どんなことをお考えなんですか？

石阪 英語教育です。学力で言えば、うちは東京都の平均の少し下ぐらい。でも、英語だけは上に行こうと考えていて、ここに億単位で投資します。A・L・Tや外国の留学生のようなネイティブの人を、全学校に入れようとか、英語の町田と言われるぐらい頑張ろうとしています。

澤井 英語にフォーカスされるのは時代の必然ですね。大変素晴らしいと思います。私は町田市の「子ども子育て会議」に参加させてもらっていて、そこで感じるのが行



澤井 宏行

町田・相模原経済同友会 幹事

東京ガスライフバル相模原代表取締役社長を経て2016年10月より東京ガスライフバル澤井株式会社 取締役副社長
町田商工会議所や町田青年会議所など、地元の社会活動にも積極的

「改革にはリーダーの強い意志が必要」

政の縦割りです。障がい者教育についても同様に感じているんですが。

石阪 そうですね。実は10月に、鶴川の子どもセンター^{*}つるつるこにリオで銀メダルを取った^{*}鹿沼さんと、柔道の石川さんに来て頂いたんですが、子どもたちは大興奮でした。でも、それを企画したのは障がい課でもスポーツ課でもなく、何と児童青少年課。それには僕も驚きました。

柴田 町田はバラスポーツに熱心ですよ。鹿沼さんといえば、今年の4月からうちに来てもらっているんです。2016年の秋に、東京パラリンピックの副実行委員長の方が特別講演会をされたとき、ゲストで来られていて。その後、食事をする機会があつて、聞いたら実はスポンサー企業の契約を更新してもらえなかったと。いろんな事情があつたとは思いますが、障がい者スポーツの方々つて契約社員で正社員の方がほとんどいないんです。アスリート人生が終わっちゃうとセカンドキャリアがない。それで、うちは正社員で、競技人生が終わってもそのまま会社で働いてもらつて構わないから、と頑張ってもらっています。

石阪 パラリンピックの普及は進んでいないので、特に力を入れようという方針を出しています。端的に言うと、試合のときに観客席を満席にしよう。じゃあどうするか。来てもらわなきゃ駄目だよ、どうやってら？と突き詰めて考えるところから始めている。

柴田 あと、小中一貫教育を掲げられてい

ますよね。中高ではなく、小中とはどういうことですか？

石阪 子どもたちに、自分が中学に行ったらどういふことがあるか、あるいは中学に行つたときに何が期待されるかということ。を先に分かち合ひたいですね。中学の先生が小学校の授業に行ったり、小学生が中学の授業に行ったり。6年生と中1の境目になるべく小さくしたいんです。すると、落ちこぼれないというか、ずっと繋がつて勉強ができるから、スムーズに行くだろうと。それが狙いです。

澤井 どうですか、手応えは。

石阪 先生の間ではだいぶいいですね。もう一つ、小学校に入学するときの段差を小さくすることも考えています。子どもにしてみたら次に行くところって、期待より不



安のほうが大きいですよ。不安を小さくしていけば期待だけが残る。そういう意味で学校にも、勉強にも、スムーズに受け込める。その環境づくりも一生懸命やっています。

教える内容も、中学で教えることをあらかじめ小学校のときから少しずつ小出しでやつてみたい。

澤井 珍しい取り組みですね。市長の考える教育とは、どんなイメージですか。

石阪 自分が行きたいように、自分がしたいようにできる道をたくさん用意することです。どっちに行きたい、何をしたい、というときに、そこに道がなくて困る。卑近な話でいうと部活。自分は中学に行ったら野球をしたい。でも顧問の先生がいないから野球部がない。そんなことにならないよう、運動系の部活の顧問は先生じゃなく、専門の職員を雇うとかね。

澤井 教師の多忙化つて、今凄らしいですね。部活の顧問なんて誰もやりたがらないから、部活や稼働日もとても少ないと聞いています。

石阪 そう、生徒に選択肢がない訳ですから他にいくしかないんです。そこを、市でお金を投じて、部活も、勉強も学校で、というようにしたい。それから、私立に行こうか公立に行こうか、それも選択肢がたくさんあつた方がいい。選択肢がたくさんあれば、その中から主体的に選べるし、だからこそ意欲が出てくる。ここに行けとか、あそこに行けとか、押し付けられたんじゃない子どもは頑張らない。人は自分で選んだときに頑

張るもの。教育つて本人の意欲を引き出せるかどうかだと思うんです。

澤井 最後に、町田と相模原つて同じ経済圏だと思ふんです。経済同友会も一緒にやっていますので、どんな活動に期待するか、こんなことができるんじゃないとかありますか？

石阪 そうですね、同友会としては、経営者としてのエピソード、例えば、町田の人が相模原の市役所に行つて職員に話をするとか、逆に相模原の人が町田の市役所に来てこんなことが出来ないかと言つてみたり、そういう研修のチャンスみたいなものをつくつてくれるといいなと思っています。

柴田 面白いですね。その行政バージョンも絶対やつてほしい。

石阪 人事交流はしていますが、行政交流はやつてないです。だって、うちが一番だから勉強する必要はない、っていう人が意外と多いですからね。

柴田 僕は、せめてJCや商工会議所などで石阪市長の話を相模原の人が聞く、町田の方たちにも加山市長の話を聞いてもらえたら、と思います。目からうろこですから。

石阪 市のレベルとしては政令指定都市じゃなくて普通の市ですが、やつている仕事はそんなに変わらないので、いろんなことが勉強になりますよね。お互いのいいところだけ見るようにして。

柴田 そうですよ。僕としてはまず、相模原市に複式簿記を入れてほしいです。

野津田の大自然を借景に、俗世間から解放されたロケーションの洋館が俊宣茶房だ。鎌倉街道の新袋橋交差点近くからトンネル上の綾部原台地の中をゆつくりと進んでいくと辿り着く。さながら町田の「軽井沢」と店主も称するその店は、慶応を出て広告マンとなった柴原氏が、父の営む自然の中のレストランに惹かれ、脱サラして修業を積み、2007年にオープンさせた。家族との想い出深い軽井沢。そこに似たロケーションを探すのに2年を要した。大きなガラス窓から、春には新緑の伊吹、夏には力強く生い茂るグリーン、秋には紅葉、冬には真っ白な雪景色が楽しめます。訪れる人を感動で包み込む。

ここは元々、世田谷に住んでいた作家の別邸だった。年老いて手放したのを店主が甦らせた。洋風の外観に反して、和の雰囲気漂う店内にも沢山の拘りが詰まっている。何度も色を重ねて再現した壁の紅色。書道に用いる墨で色付けした柱や窓枠。矢羽網代の格天井。配されたテーブルは全て英国から仕入れたアンティークだ。

そんな食空間でいただけるのは、フレッシュな野菜を使ったフレンチをベースに、和の要素を取り入れた美しい料理たち。すぐそばの畑ではハーブなども作っている。創意工夫に満ちているが、決して素材の味を邪魔しない。選り抜かれた器も、素材の色や美しい盛り付けをバランス良く演出している。

朝日リビングの田代社長は、44歳で初孫が出来た若い、おじいちゃん、で、休みには3人のお孫さんと映画に行ったり、キャッチボールをしたり、家族と過ごす時間を大切にしている。8人の大家族で賑やかな毎日だが、ここでは自然を愛でながらゆつくりと料理に舌鼓を打てるという。

鳥のさえずりや虫の音が響く非日常空間で、窓からの景色もご馳走に、至福の時間が楽しめる。大人がくつろぎ、安らぐための、まさに「リゾート」のようなレストランなのだ。



上) 左から田代社長、柴原俊宣氏、夫人の育美さん 下) ランチは1コース3,600円でメイン2種に前菜2品、スープ、パン、デザート、珈琲。ディナーは3種類5,000円〜。(サービス料・税込)

俊宣茶房 町田市野津田町1599-6 ☎ 042-736-8878 🕒 11:30~15:00 17:30~21:00 火曜日休・予約制 <http://www1.odn.ne.jp/~cek58630/synsen-index.html>
朝日リビング株式会社 <http://www.asahi-lv.co.jp>

※鹿沼由理恵(かぬまゆりえ) 町田市出身、町田市在住のパラリンピアン。リオ・パラリンピックのタンデム(2人乗り自転車)で銀メダルを獲得した。

親子で切り拓く、次なる挑戦



東京ガスライフバル澤井株式会社
代表取締役

澤井 茂男 氏

副社長 (写真右)

澤井 宏行 氏

専務取締役 (写真左)

澤井 義晴 氏

東日本大震災を機に、ガスや電力のシステム改革が段階的に進められ、その事業環境は構造的に大きな変化が生じている。少子高齢化による人口減少社会の到来で需要が伸び悩む課題を投げかける一方、IoTやAIなどの技術

革新を活用した新サービス、自由化による新たな市場ポテンシャルも生まれている。そんな混沌とした中で、新たな成長に向けタッグを組む二人の息子と、業界きっての力リスマリーダ、澤井茂男氏に迫る。

PROLOGUE

町田を中心に都市ガスのサービスと機器販売・施工などを手掛ける東京ガスライフバル澤井は1987年に澤井茂男氏が成瀬で創業した。社名に自身の名を冠したその会社は、素晴らしいCSと売上実績で着実に成長を続けてきた。他の販社から、研修生が訪れるほどの優良企業でもある。現在では町田以外に相模原市に2ヶ所と横浜市緑区の十日市場、合わせて4つの拠点を持つ。ただ、会社として大切にしてきたことは利益や売上ではなく、徹底したCS、顧客満足度だ。

創業以来「お客様を大切に」社員を、大切に「という理念を掲げ、地味で、真面目な業務を積み重ねてきた。そのシンプルで当たり前の努力を続けてきたことが、成長の根底にある。そして、その原動力となったのが社長である澤井茂男氏の強い、そして大きな人間力なのだ。

ADVANTAGE

社内ではカスタマー目線の厳しい社員教育が徹底されており、時には凄烈な叱咤も飛び交うこともあるが、そんな時は、副社長である長男の宏行氏が社員の間に入り、バランスを取るのだという。

宏行氏は、2014年4月1日に経営権を取得した東京ガスライフバル相模原の社長を2年半務めた後、現在は東京ガスライフバル澤井の副社長に就任している。二男の義晴氏は専務として横浜市緑区の拠点を任され、町田を補佐するという形だ。そんなエリア分担も効果的に機能している。そして、2016年10月に全ての会社を統合し、顧客35万人をマーケットにした東京ガスライフバルの巨大会社が出来上がった。

二人のジュニアと三人体制だったが、茂男氏から宏行氏へのシフトは徐々にスピード

を速めている。親子だからこそぶつかる事も多かった。しかし、内向きの視点となり易い同族経営を是としな

ところ」と副社長が言えば、「意見がぶつかることは日常茶飯事。散々ぶつかり合った結果、いい方向へ向かっていく。会社とはそういうものだ」と社長が笑う。東京ガス販社の社長の中でも指折りのカリスマ性を持つ社長と、社員の間に入ってバランスを取る二人の息子たち。コーポレートガバナンスがうまく機能し、意思決定のプロセスで重要な役割を果たしてきた。この先の継承も全く心配はない。



上) 町田市中町にある本社1階のショールーム
下) 活気ある2階オフィス。挨拶の徹底も、お客様第一の社風が感じられる

り、人の質が何よりも大切。『人材は宝』だと思っている」と言う宏行氏。

次のステップを歩み出している同社は、社長が創り上げてきた「澤井イズム」を二人の息子が更に磨きをかけ、新しい分野に果敢に挑戦する。守るべきものと、チャレンジするもの。対局にある2つのどちらをも手にし、しっかりとした経営戦略を描ける企業が次代を生き抜く強い企業になっていくのだ。

NEXT STAGE

リーダーによって数字の質が異なるように、人の大切さを良く理解している。ガスの販売、測定というマーケットから商品力が拡がり、電力の自由化を経て、リフォームや給排水も手掛ける生活提案型企業に変貌を遂げつつある。ガスを使ったお客さんをどう囲いこむか。そして、これまで会社の強みだった内製化を更に会社の強みとして突き詰めるのか。

「時代が変わっていく中で、自分たちの提供するサービスも変わっていくが、重要なのは、そのサービスを提供する人」であ

COMPANY PROFILE

東京ガスライフバル澤井株式会社

創業: 1987年
資本金: 5,000万円
従業員数: 279名(2017年11月1日時点)
事業内容: ガス機器及び住宅設備機器の販売・施工・メンテナンス・リフォーム
売上高: 41億円(2016年度)
本社: 東京都町田市中町2-15-14
TEL 042-722-5347
<http://www.tglv-machida.com/>



陸上競技部駅伝チーム 桜美林大学特別強化クラブの一つ。部員57名。
部員は寮生活を送り、毎朝6時から練習を行う一方で、「文武不岐」の精神で学問にも励む。
<https://www.obirin.ac.jp/sports/introduction/athletics/about/>

大学初の箱根ラン 創部5年目で掴んだ大きな一歩

今年で94回目となる東京箱根間往復大学駅伝競走。新年を飾る一大イベントとして年々熾烈な戦いが繰り広げられ、今年も青山学院大学が4連勝を飾った。その一方で、新たに箱根の歴史に名を刻んだのが、町田市にメインキャンパスを置く桜美林大学だ。

1月2日、晴天の戸塚中継所。残り4秒で繋がった襷を受け取ると、田部幹也選手は平塚中継所へ向けスタートを切った。湘南の日差しを浴び、駆け抜けた21.4キロは、桜美林初の箱根ランとして未来に続く大きな1歩となった。沿道には大勢の人々が駆け付け、エンジ色のタオルを手に大声援を送った。

桜美林大学の駅伝チームが稼働したのは2013年。初代監督として招聘されたのは、山梨学院大学時代、箱根で異次元の走りをみせた真也加氏と語る。当時、部員はゼロ。全国の高校を回り、部員を募るところからのスタートだった。様々な苦難もあったが、彼の知名度もあり、2014年春、16名が入部した。

真也加氏の教え方は選手の自主性を尊重した実にシンプルなものだという。初年度から箱根



駅伝の予選会に出場、部員数も毎年増え、着実に力をつけてきた。ようやく部員が全学年揃った2017年、インカレの男子5000mで優勝したケニア出身のレダマ・キサイサ選手が歴代2位のタイムでゴールテープを切ると、3年生の田部幹也選手が関東学連16名に選ばれた。

創部5年目で初の箱根ランナーとなった田部選手。「来年はチームとして箱根を走りたい。自分が走ったことでチームの士気も上がってくれば」と語る。間もなく創立100年を迎える桜美林学園。その重みを背負い駆け抜けた新春の箱根路。彼らの襷リレーは今ようやくスタートラインを切ったところだ。

上) 田部選手は鳥根県奥出雲町出身。将来は地元鳥根で陸上競技の普及に努めたいという。
下) 真也加氏はケニア生まれ、1990年に来日。大学時代は箱根駅伝2区で区間賞、母校の優勝に貢献した。

MONTHLY MEETING REPORT

例会
July-December 2017
報告

第89回 2017 7/13 (木) ホテル ラポール千寿閣
例会 会

「経営戦略としての働き方改革」 (株)ワーク・ライフバランス 代表取締役社長 小室淑恵氏

超高齢化社会に立ち向かうワークスタイル変革のための講話。介護・育児・長時間労働等の問題に対し、働き方を変え、タイムマネジメント見直しの必要性を、自らの体験談を盛り込んで分かりやすく話されました。



第90回 2017 9/14 (木) ホテル ラポール千寿閣
例会 会

「企業不祥事防止のツボ ～4つのワナから考える～」 関東学院大学 副学長 小山巖也氏

関心の高い身近なテーマに、80名超が聴講。自身の大学での事件を内部目線で論理的に紹介。雪印乳業、不二家等の不祥事の原因や実態、対応を分析し、防止策や対応策まで、有益な情報が詰まった講話でした。



第92回 2017 11/9 (木) ホテル ラポール千寿閣
例会 会

「観光地域づくりに必要な デスティネーション・マーケティング」 (株)JTB総合研究所 主席研究員 吉口克利氏

観光マーケティングにおける調査や分析を4項目に分けて講演。驚異的な伸びをみせるインバウンドの現状から、訪日外国人の構成や消費額、今後の課題まで専門的な内容にも踏み込んだ60分でした。



市政研究 2017 8/22 (木) ホテル
委員会 会 ラポール千寿閣

「町田市5ヶ年計画17-21と 交通について」 町田市副市長 高橋豊氏

高橋副市長を講師に、商工会議所深澤会頭や吉原都議、市政研究委員、副代表幹事19名で開催した市政研究会。井上委員長による経過説明や参加者全員による積極的な質疑応答など、有意義で濃密な時間でした。



第91回 2017 10/12 (木) ホテル
例会 会 ラポール千寿閣

「桜美林学園の SDGs ～ Sustainable Development Goals ～」 桜美林学園 理事長 佐藤 東洋士氏

2021年に百周年を迎える桜美林学園の沿革や創設者の想い、名の由来、モットーなどが熱く語られました。新世代キャンパスの整備や社会福祉の視点による介護事業など学園の目指す未来にも触れられました。



第93回 2017 12/14 (木) ホテル
例会 会 ラポール千寿閣

忘年例会 ～クリスマス交流親睦会～

社員や家族も交えて楽しんだ恒例の忘年例会。地元出身で親しみ溢れるマギー直樹氏のマジックや、桜美林大学『CREAM』のダンスは圧巻でした。豪華賞品に一喜一憂した抽選会など、終始盛り上がった3時間でした。



武相エコノミスト 第9号 January 1, 2018 発行 町田・相模原経済同友会 〒194-0022 東京都町田市森野1-25-17 パレス機能part1-2F TEL/FAX: 042-726-3577 http://www.ms-doyukai.jp/ 制作 株式会社 VisionDesign

家・不動産の売買・仲介専門店



HouseDO

町田大通り店 株式会社イーグル建創

OPEN!!

2018.1.12 FRI

新築戸建・中古戸建・土地・新築マンション・中古マンション

住まいを買う時も
売る時も

ハウズドウ! 町田大通り店へ



0120-973-487

営業時間
9:00~18:00
水曜定休



いづれかな?人工知能が自動で査定

10秒で 不動産査定 **10秒でDo!**

家に住みながら
その家を**買取**ります

ハウス・リースバック®
お気軽にお問い合わせください。

売買物件大募集

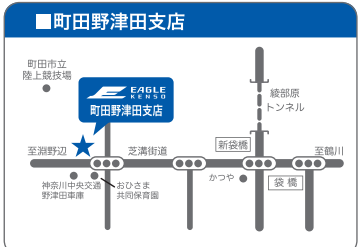
即価格提示宣言
近隣事例全公開

HouseDO HouseDO HouseDO HouseDO HouseDO HouseDO HouseDO HouseDO HouseDO

お家の小さなお悩みから大型改修まで
あなたの暮らしを全面サポート



株式会社イーグル建創
0120-67-1196



〒195-0063 東京都町田市野津田町 1737



〒194-0212 東京都町田市小山町 3254-1

建設業国土交通大臣許可 (特-27) 第 21202 号 一級建築士事務所東京都知事登録 第 47739 号
宅地建物取引業者東京都知事 (3) 第 82970 号 登録電気工事業者 東京都知事届出第 248814 号